

課題別 本市の現状等関係資料

I 人材育成・人材確保

1 倉吉市の現状

<求人倍率職業別一覧（各年度3月末）>

業種	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29.7 末
専門的・技術的職業	2.07	2.79	2.76	2.04	2.03
管理・事務的職業	0.31	0.33	0.31	0.35	0.29
販売の職業	1.00	1.05	1.67	2.13	1.95
サービスの職業	1.49	1.59	2.14	2.46	2.75
（介護サービスの職業）	0.89	1.37	1.35	1.70	2.25
保安の職業	3.05	4.20	4.67	7.40	3.29
農林漁業の職業	0.80	0.76	1.09	1.45	1.69
生産工程の職業	0.50	0.51	0.74	1.28	1.38
（機械組立・検査の職業）	0.15	0.13	0.30	0.81	0.92
輸送・機械運転の職業	1.67	1.45	1.13	3.06	2.48
建設・採掘の職業	0.98	1.17	1.46	2.19	4.04
運搬・清掃・包装の職業	0.52	0.48	0.53	1.07	1.00

出典：ハローワーク倉吉

<正社員の有効求人倍率>

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
全国	0.58	0.69	0.77	0.90
鳥取県	0.46	0.57	0.69	0.84
倉吉市	0.46	0.53	0.60	0.72

出典：ハローワーク倉吉

2 重要業績評価指標（KPI）

項目	現状値 (H26)	H27	H28	目標値 (H31)
「将来の夢や目標を持っている」と 答えた児童生徒の割合【%】	小学生： 84.0%	84.9%	81%	小学生： 90.0%
	中学生： 73.0%	70.6%	75%	中学生： 80.0%
職場体験受入登録事業所数【社】	-	158 社	148 社	150 社

地元大学の地域イベント参加回数【回】	15回	25回	22回	30回
未来担い手養成塾参加者数【人】	13人	25人 (累計)	38人 (累計)	70人 (累計)
障がい者に対する市民の理解度【%】	74.7%	81.5%	76.6%	84.5%
学生と雇用先のマッチング支援件数【件】	-	0件	0件	20件
男女ともに働きやすい職場環境を構築する男女共同参画推進企業の認定数【社】	65社	71社	76社	100社
公的審議会の女性登用率【%】	29.9%	31.6%	30.6%	40%
コミュニティリーダー養成事業参加者数【人】	-	15人	26人 (累計)	50人 (累計)
シルバー人材センター登録者数【人】	326人	319人	320人	350人
定年帰農者数【人】	-	0人	2人	5人
企業誘致及び規模拡大による新規雇用者数	153人	292人 (累計)	352人 (累計)	300人 (累計)
倉吉管内有効求人倍率【率】	0.94	1.08	1.26	1.00
地元採用率【率】	52.0%	54.0%	52.0%	60.0%
市内における起業者の累計数【件】	17件	26件 (累計)	41件 (累計)	40件 (累計)
人材育成センター受講者数【人】	130人	166人	213人	150人
経営相談による改善事業数【件】	-	26件	7件	30件
空き店舗を活用した新規出店数【件】	-	5件 (累計)	9件 (累計)	15件 (累計)
伝統的民芸品年間制作数【体】	-	1,262体	1,266体	1,500体

3 事業の実施状況 (H29.6 末時点)

ID	事業	取組状況
33	企業での職場体験や第一線で活躍する人による授業など企業が育てるキャリア教育推進事業	実施中
34	ICT活用教育の推進・国際化に対応した英語教育支援員配置事業	実施中

35	若者のアイデアを地域づくりに活かすため、青年ネットワーク支援事業	実施中
40	女性の多様な就労機会を創出するセミナー開催や就業体験事業	実施中
41	女性や高齢者等への就業情報を斡旋する市役所内就業情報発信事業	実施中
46	大学、企業、団体、地域、行政が連携し「農業」「観光」「介護福祉」「店舗経営」「地域づくり」など学びの場の提供事業	実施中
47	市と地元大学による地域づくりの担い手を認定するコミュニティ師範(仮)養成事業	実施中
48	アクティブな高齢者の学びと活躍の場を創出するシルバー人材活用事業	実施中
49	圏域の地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図る企業支援事業	実施中
50	成長産業の起業や事業承継を助言・支援を行う金融機関含めた専門家集団の立ち上げ等、f-Biz をモデルにした経営相談等推進事業	実施中
52	とっとり企業支援ネットワークと連携したよろず支援拠点、事業引継ぎ支援センター参画事業	実施中
53	地域資源(地域ブランド)を活用する中小企業の支援事業	実施中
55	伝統的民芸品の制作技術伝承、調査研究、啓発、保存等を支援する、ふるさと産業支援事業	実施中
56	ハローワークの情報を市役所でも閲覧可能にする就業情報発信事業	実施中
58	介護ロボット等の普及促進等、高齢者が住みよい街日本一のシルバービジネス促進事業	実施中
69	捕獲員確保による有害鳥獣総合対策事業とジビエ活用支援事業	実施中
73	白壁土蔵群内の空き店舗のリノベーションを活用したカフェ・旅館等整備事業	実施中
37	地元学生と地域住民のイベント支援や交流拠点整備事業	一部実施中
43	子育て、保育施設、小児科、補助金などの情報集約や発信を行う、ステキ情報発信事業	一部実施中
42	家事メン推奨事業を推進する企業を推奨する男性のワークライフバランス促進事業	H29 実施予定
45	定年時に農家の担い手を確保する定年帰農者総合対策事業	H29 実施予定
68	農業の担い手を支援する篤農家技術指導や定年帰農者支援事業	H29 実施予定
36	地域の政策づくりを支援するため、未来担い手養成塾の拡充事業	検討中
38	障がい者交流サロンの設置事業	検討中
39	地元大学、経済界、自治体が連携し地域学生の定着を図る人材育成プログラム推進事業	検討中

44	女性向けコミュニティ施設兼食料品販売施設整備事業	検討中
54	地元企業が求める人材獲得支援事業（未来人材育成奨学金支援事業への参画、Uターン者受入企業支援事業）	検討中
57	地元大学と連携した修学から雇用まで地元定着に向けた、看護・介護人材の定着支援事業	検討中
51	倉吉の地での起業者を全国から募り支援するビジネスプランコンテスト開催事業	実施しない

※ 取組状況の詳細は、別添「総合戦略掲載関係事業リスト」を参照。

II UJIターン・若者の定着

1 倉吉市の現状

<人口動態>

(単位：人)

	人口増減						
		自然増減			社会増減		
			出生	死亡	転入	転出	
H25	△418	△293	416	709	△125	1474	1599
H26	△445	△340	364	704	△105	1429	1534
H27	△398	△306	383	689	△92	1462	1554
H28 (前年比)	△553 (△155)	△307 (△1)	366 (△17)	673 (△16)	△246 (△154)	1276 (△186)	1522 (△32)

出典：倉吉市勢要覧

<年齢別転入者数>

(単位：人)

	転入者数									
	0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
	県外	県外	県外	県外	県外	県外	県外	県外		
H25	190	75	134	43	504	246	322	150	136	70
H26	185	90	126	64	459	224	321	167	141	69
H27	191	84	112	52	487	235	327	160	145	70
H28	155	81	112	44	409	205	297	153	119	63

出典：倉吉市市民課

<県内転入者数>

転入元／ 転出先	H25		H26		H27		H28	
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出
鳥取市	234	218	226	187	187	211	174	189
米子市	115	157	107	114	115	140	91	129
境港市	9	15	6	16	20	11	8	10
岩美町	18	11	7	3	3	8	7	5
若桜町	1	4	1	3	0	0	2	3
智頭町	4	0	1	1	1	3	3	10
八頭町	14	14	11	8	9	10	12	11
三朝町	43	58	60	50	61	37	45	64

湯梨浜町	148	172	141	169	134	124	107	179
琴浦町	71	88	57	63	88	52	53	54
北栄町	117	124	80	114	114	148	127	138
日吉津村	0	0	0	1	1	2	0	2
大山町	12	22	11	10	8	14	6	12
南部町	3	2	3	3	1	5	1	4
伯耆町	3	2	2	3	11	4	4	4
日南町	2	4	0	0	8	5	1	0
日野町	6	3	3	2	1	2	1	2
江府町	0	3	1	0	0	1	0	7
総計	800	897	717	747	762	777	642	823
転出入超過	-97		-30		-15		-181	

出典：鳥取県人口移動調査

< 転入アンケート結果（倉吉市役所窓口に設置） >

※ 世帯主の年齢が 39 歳以下の回答のみを掲載

(1) Iターン、Uターンの別

(単位：人)

項目	H26	H27	H28	計
Iターン	35	40	35	110
Uターン	24	42	49	115

(2) 移住の目的（複数回答可）

(単位：人)

	項目	H26	H27	H28	計
1	就職	32	31	26	89
2	結婚	4	16	10	30
3	田舎暮らし	6	8	5	19
4	子育て	1	5	12	18
5	退職・離職による帰郷	4	3	8	15
6	起業	1	2	5	8
7	介護	1	1	3	5
8	卒業による帰郷	1	3	1	5
9	農林水産業	1	0	3	4
10	転勤（前任者なし）	1	0	0	1
11	大学等への進学	0	0	1	1
12	出産等に伴う一時的な帰郷	0	0	1	1

13	実家への帰郷※ ¹	-	1	0	1
14	その他	7	13	10	30
	計	59	83	85	227

※¹ H27 から選択肢に追加された項目

(3) 移住の決め手 (複数回答可)

(単位：人)

	項目	H26	H27	H28	計
1	実家がある	24	32	40	96
2	働く場所がある	21	11	22	54
3	自然が豊か	1	3	14	18
4	知り合いがいる	3	3	10	16
5	子育て環境が整っている	2	4	4	10
6	行政の取組が熱心	2	0	0	2
7	移住相談窓口の対応がよかった	0	1	0	1
8	災害が少ない	0	0	0	0
9	食が魅力的※ ¹	-	0	0	0
10	地域が元気で温かい※ ¹	-	0	0	0
11	自分の時間にゆとりが持てる※ ¹	-	0	0	0
12	その他	2	1	3	6
	計	55	55	93	203

※¹ H27 から選択肢に追加された項目

2 重要業績評価指標 (K P I)

項目	現状値 (H26)	H27	H28	目標値 (H31)
県内外からの移住者	147 人	185 人	194 人	200 人
空き家バンク成約件数【件】	15 件 (単年)	21 件 (単年)	9 件 (単年)	20 件 (単年)
移住定住相談件数【件】	324 件	310 件	306 件	500 件
お試し住宅体験者数【世帯】	2 世帯	21 世帯	26 世帯	50 世帯
「今住んでいる地域のために活動している」と答えた児童生徒の割合【%】	小学生： 87.0%	85.0%	87.0%	小学生： 90.0%
	中学生： 70.0%	64.0%	66.0%	中学生： 75.0%

青少年の体験活動への参加回数【回/人】	1.2回/人	1.9回/人 (7,327人)	1.4回/人	1.5回/人
学校支援ボランティアとして地域住民の活動人数【人】	1,294人	1,034人	1,098人	1,300人
児童・生徒1人当たりの地域・ボランティア活動への参加回数【回/人】	2.1回/人	1.7回/人	1.6回/人	3.0回/人
教員補助員の支援対象となる児童・生徒の生活・学習の改善された割合【%】	-	90.0%	100.0%	90.0%
学生と雇用先のマッチング支援件数【件】	-	0件	0件	20件
6次産業化取組み件数【件】	1件	2件	0件	3件
地域ブランド商品の開発件数（累計）【件】	21件	22件 (累計)	22件 (累計)	36件 (累計)
認定農業者数/農業従事者数【%】	5.12%	5.66%	8.84%	6.00%
農業生産法人【組織】	12組織	13組織	13組織	15組織
新規就農者数【人】	6人	24人 (累計)	32人 (累計)	25人 (累計)
淡水漁業従事者新規雇用者数【人】	-	1人	2人 (累計)	2人 (累計)
竹等未利用資源活用事例件数【件】	-	2件	2件	10件
狩猟免許取得者数【人】	102人	113人	106人	120人

3 事業の実施状況（H29.6末時点）

ID	事業	取組状況
18	集落の暮らし・共働ハンドブック作成事業	完了
22	空き家を活用した学生向けシェアハウス導入事業	完了
64	海外も含めた戦略的な販路拡大促進事業	完了
16	窓口の移住相談員・地域内の移住コーディネーター配置事業	実施中
17	田舎暮らし体験ツアー・お試し住宅設置事業	実施中
19	移住者が移住者を呼ぶ、移住者による倉吉市の紹介事業	実施中
21	空き家ストック活用促進事業	実施中

23	ふるさと納税者へのU・Iターンお薦め事業	実施中
26	倉吉在住外国人の活用と交流促進事業	実施中
27	地域との共催による、「倉吉大好き！ふるさと学習」創造事業	実施中
28	学校給食への地元産食材の利用促進	実施中
29	自然の中で遊び学ぶ体験型教育の拠点整備と推進事業	実施中
30	きめ細やかな支援を行うためのSC、SSWR、教員補助員配置事業	実施中
31	小学校と中学校が緊密に連携・協働して進める小中連携教育推進事業	実施中
32	倉吉に所縁のある人財の顕彰と活用支援事業	実施中
49	圏域の地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図る企業支援事業	実施中
50	成長産業の起業や事業承継を助言・支援を行う金融機関含めた専門家集団の立ち上げ等、f-Biz をモデルにした経営相談等推進事業	実施中
52	とっとり企業支援ネットワークと連携したよるず支援拠点、事業引継ぎ支援センター参画事業	実施中
53	地域資源（地域ブランド）を活用する中小企業の支援事業	実施中
55	伝統的民芸品の制作技術伝承、調査研究、啓発、保存等を支援する、ふるさと産業支援事業	実施中
56	ハローワークの情報を市役所でも閲覧可能にする就業情報発信事業	実施中
58	介護ロボット等の普及促進等、高齢者が住みよい街日本一のシルバービジネス促進事業	実施中
60	すいか、トマト等園芸作物における施設園芸（パイプハウス等）の導入、推進による生産基盤安定強化事業	実施中
62	ふるさと納税贈呈品による特産品の充実事業	実施中
66	ギンザケ養殖、薬用作物、竹活用など中山間地産業の活性化事業	実施中
67	木質バイオマス等再生エネルギー活用検討協議会設置事業	実施中
69	捕獲員確保による有害鳥獣総合対策事業とジビエ活用支援事業	実施中
25	移住者・若者に優遇支援拡充事業	一部実施中
61	6次産業化に向けた推進員による商品開発支援や異業種連携創出事業	H29 実施予定
68	農業の担い手を支援する篤農家技術指導や定年帰農者支援事業	H29 実施予定
20	市有地分譲・売却促進事業	検討中
24	孫ターン、定年後Uターンの促進事業 (案) くらよし、観てよし！味わってよし！暮らしてよし！推進事業	検討中
54	地元企業が求める人材獲得支援事業（未来人材育成奨学金支援事業への参画、Uターン者受入企業支援事業）	検討中
57	地元大学と連携した修学から雇用まで地元定着に向けた、看護・介護人材の定着支援事業	検討中

59	地域特産品の拡大に向けた新商品（梨、スイカ、イチゴ等）のブランド化促進事業	検討中
63	優れた地元食材の周知と活用を図る「食」のブランド力開発事業	検討中
65	ファーマーズマーケット整備などマーケティング強化と販路拡大の推進事業	検討中
51	倉吉の地での起業者を全国から募り支援するビジネスプランコンテスト開催事業	実施しない

※ 取組状況の詳細は、別添「総合戦略掲載関係事業リスト」を参照。

Ⅲ 出生数の向上

1 倉吉市の現状

<出生数と合計特殊出生率の推移>

(単位：人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
出生数	461	409	416	364	383	366
前年比	+71	△52	+7	△52	+19	△17
合計特殊出生率	1.76	1.58	1.75	1.52	1.69	

出典：倉吉市勢要覧

※H28の合計特殊出生率は、人口動態統計月報年数（概数）（厚生労働省）において11月頃に公表予定

<出生順位別出生数の推移>

	H25	H26	H27	H28
出生数	416人	364人	383人	366人
第1子	179人(43.0%)	163人(44.8%)	184人(48.0%)	159人(43.5%)
第2子	148人(35.6%)	126人(34.6%)	118人(30.8%)	119人(32.5%)
第3子以降	89人(21.4%)	75人(20.6%)	81人(21.2%)	88人(24.0%)

出典：倉吉市勢要覧

<婚姻・離婚件数>

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
婚姻	220件	251件	235件	218件	220件	203件
離婚	101件	81件	86件	91件	91件	85件

出典：倉吉市勢要覧

<婚姻率>

	H25	H26	H27	H28
全国	5.3	5.1	5.1	5.0
鳥取県	4.7	4.7	4.7	4.3
倉吉市	4.8	4.2	4.4	4.0

出典：鳥取県人口動態統計

<倉吉市民意識調査結果>

(1) 子育てに対する不安の内容 (複数回答可)

	選択肢	回答実数		
		H27	H28	H29
1	子どもとの時間を十分にとれない	37 (2)	46 (2)	42 (2)
2	子どもとの接し方に自信が持てない	13	24	17
3	相談できる人がいない	1	12	7
4	子育てへの職場の理解、協力が無い	13	21	15
5	子どもが小さいうちは、仕事や自分のやりたいことが十分にできない	25 (3)	36 (3)	31 (3)
6	子育てや子育て支援サービスの情報が少ない	21	19	20
7	子育て支援のサービスが少ない	19	25	25
8	子育てへの家庭の理解、協力が無い	8	9	6
9	経済的に不安である	65 (1)	70 (1)	68 (1)
10	その他	10	14	11
	合計	85	276	243

※ () 内は順位

「その他」の回答

産前、産後のサポート／長期休暇時の児童センターの開始時間が遅い／放課後児童クラブ、児童センターの質／日曜日、祝日にオープンしている児童館がもっとほしい／病後保育的な施設が欲しい／障がい児を育てていく不安／県外から来ているので市内の子育て事情がよくわからない／保育園が近くにない／子育て中の親に合う仕事がない／仕事と子育てに忙しく、家事が不十分になる／自分たち夫婦で子育てしたい「助けてあげる」が窮屈／地域の理解が乏しい／子どもが遊べる場所がない／学童の通学路がよくない／小学校が遠すぎる／子供の将来、仕事があるのか／学校の教育姿勢／学校が荒れている／学校でのいじめ／成人するまでに必要な経験を得る手段が全て保護者の責任になってしまっている事／プライバシーが守られていない／子どもを取り巻くメディアとの付き合い方／子育てをしていく上で、自分の年齢に不安を感じる／親の介護と重なる心配

<市民意識調査 子育てに関する意見 (H25~29) >

【経済的支援等に関する意見】

- ・周りから経済的理由で子どもは1人でいいという声を聞く。
- ・保育料が高い。子どもにかかる色々な費用を市等がもっと負担してくれたら。
- ・保育料高すぎます。働くための保育園のほすが、保育園に通わせるための仕事になっている気がする。
- ・児童手当を支給するのではなく、保育料の無償化をした方がいい。

- ・市民税も高く、子育てに集中できる環境ではないと思います。
- ・児童手当を増やして欲しい。
- ・小中学校の給食費を無料にしてもらいたい。
- ・せめて小学生のうちの2回接種のときは助成してほしい。
- ・もう少し一人親世帯に優しい行政サービスがあればと思う。例えば住宅関係。
- ・多子世帯へのサポートを手厚く。税金面の優遇。子供の多い世帯はたくさんお金を落とすので、倉吉で産み育てると安心して安全、そして他で育てるよりお得！！と思えるサービスをして下さい。

【保育園等の施設に関する意見】

- ・保育所が廃園や民間委託されることに反対です。転園させるのは子どもが心身ともに不安定になりますし、祖父祖母の助けも借りられなくなります。
- ・公立保育所の施設・設備の充実を考えてもらえたらと思います。
- ・保育園に預けられる時間や条件を易しくしてほしい。
- ・学童保育後の時間や休日に子どもを預かってもらえる体制を整えてほしい。日曜日や祝日に仕事をしている人は沢山います。
- ・長期休暇時の児童センターの開始時間を、せめて保育園の開始時間と同じ時間にしてほしい。
- ・小学校4年～6年までの子どもを放課後に預かっていただけるようなサービスがあれば安心して働くことができると思います。
- ・自由に子どもたちを数時間預けられるところができたらありがたいです。
- ・保育園と小学校へはスクールバスで送迎して欲しい。かなり距離があり、不便である。

【遊び場の充実に関する意見】

- ・小さくていい、遊具が少なくてもいいので、子供が遊べる公園の検討をお願いします。
- ・子供が雨の日でも安心して遊べる場所が欲しい。

【仕事と子育ての両立に関する意見】

- ・子育てをしていく上で、平等ではないと感じる事があります。男女関係なく家族の協力も必要だと思うし、子育てをしながらでも働きやすい環境づくりをして欲しい。
- ・保育短時間制度は止めて下さい。2ヶ月の子どもと2歳の子どもの世話を短時間で迎へに行くのはとても大変です。安心して次の子どもを産むことができません。
- ・子育てしやすい職場づくりを進めてほしい。仕事を家に持ち帰り、休みの日も仕事をし、ワークライフバランスがくずれています。
- ・子育て世代の雇用があまり充実していないように思います。妻が職探しをする際に子育て世代のために数社から断られたことがありました。
- ・共働きが多いのに、親の負担が増えることはやめて欲しい。

【情報発信に関する意見】

- ・児童センターの行事予定やママ向け、幼児対象のイベント等を倉吉市からのメールやホ

ームページ等で分かりやすく教えてほしい。児童センターには行事予定のプリントが置いてあるが、わざわざ取りに行かなくても分かるようにしてほしい。

- ・色々な事業が行われているのですが、知らなかった事業もあり、行政側の発信がもっとあってもよいと思う。
- ・倉吉は子育て支援が充実していると感じます。それが当たり前だと思っているお母さんが多いので、他の県や市より予算を確保してくれていることを知ってもらう必要があると思います。そうすることで子育て世代が帰ってくる可能性を広げることができると思います。

【その他】

- ・「子どもたちが倉吉で健やかに成長できるか」を、最も重要な目標としてほしい。
- ・分娩できる病院・病棟（ベッド数）を増やしてほしい。
- ・産婦人科病院が増えてほしい。厚生病院は知り合いばかりで恥ずかしいです。
- ・横断歩道から歩道への段差等をベビーカーが通りやすい道にしてほしい。
- ・町の方が支援が充実しているから若い人が町に住む気持ちがよく分かります。
- ・意味の解らない小学校の保護者介入、要請。学校の草取り等、児童が学校で行うことを、なぜ親にさせるのか。全体的に過保護にもほどがある。
- ・他県でも暮らしたことがあり倉吉に引っ越してきました。保育園の入りやすさや図書館の充実ぶり等驚くことが多いです。（人が少ないから暮らしやすいのかな？と思います。役場や銀行、お店でも待つことはほとんどないですし）地元の方は普通に感じられていることが結構貴重ですよと思いながら育児しています。
- ・出産後（子育て等）の取組にくらべ出産前（子どもを産みたいと思うような取り組み）の取組が見えない。

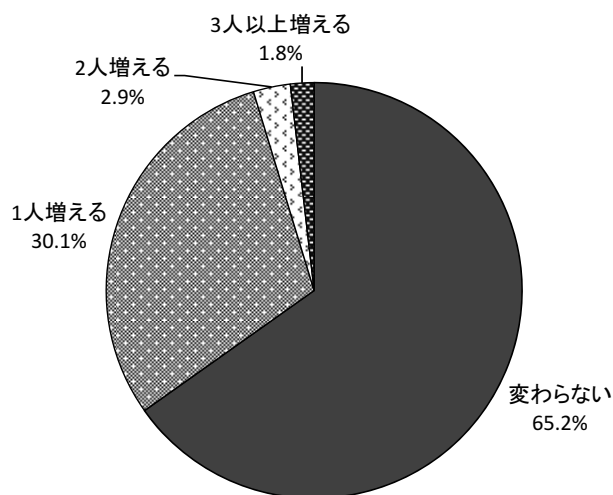
<倉吉市市民意識調査（子育て版）結果（H27 実施）>

（1）子育て環境として重視する または 重視したこと

	項目	実数
1	経済的な行政支援の充実	267
2	就労先の子育て支援の充実	168
3	親族等、頼れる人の存在	166
4	のびのびと外で遊べる環境の整備・充実	119
5	保育所等の施設の充実	104
6	保育サービスの充実	95
7	小児科・産婦人科の充実	94
8	同世代の親・子の存在	43
9	地域の人が見守ってくれる環境	42
10	仲の良い友人の存在	30

11	相談体制の充実	27
12	防災体制の充実	4
13	その他	13

(2) 子育て環境が重視することが実現した場合、理想の子どもの数は増えるか



2 重要業績評価指標 (K P I)

項目	現状値			目標値
	H26	H27	H28	(H31)
合計特殊出生率	1.75 (H25)	1.52 (H26)	1.69 (H27)	1.79
男女ともに働きやすい職場環境を構築する男女共同参画推進企業の認定数【社】	65社	71社	76社	100社
子育てに不安を持っている市民の割合【%】	58.1%	58.7%	58.0%	50.0%
子育てと仕事が両立できる環境が整っていると思う市民の割合【%】	45.5%	49.6%	47.0%	50.0%
子育て支援センターの利用者数【人】	19,911人	20,788人	21,430人	20,000人
ファミリーサポートセンター登録者数【人】	50人	34人	38人	100人
乳幼児虐待人数【人】	0人	9人	1人	0人

待機児童数【人】	0人	0人	0人	0人
出生数【人】	364人	383人	366人	400人
第2子出生数【人】	126人	118人	119人	150人
第3子以降出生数【人】	75人	81人	88人	80人
婚姻件数【件】	218件	220件	203件	235件
独身者が理想とする子供の数【人】	2.50人	2.32人	2.27人	2.70人
結婚を支援する組織によるカップル成立数【件】	0件	11件	19件	20件
出会いの場参加者のカップル成立【率】	-	10%	42%	50%
市民が理想とする子どもの人数【人】	2.29人	2.23人	2.02人	2.34人

3 事業の実施状況（H29.6末時点）

ID	事業	取組状況
1	不妊・不育症治療に対する支援の推進事業	実施中
2	次の「もう一人」に向けた保育料・医療費助成制度の充実事業	実施中
3	子育て世代の支援を行うワンストップ拠点の整備事業	実施中
4	出産後の育児負担軽減を図る、市内宿泊施設を活用した産後ケアサポート事業	実施中
9	1歳児の保育対策を円滑に実施するため特別に保育士を配置する、低年齢児受入保育所保育士特別配置事業	実施中
10	乳幼児や障がい児保育に対し専門的な知識を持つ保育士を配置する、保育サービス多様化促進事業	実施中
13	地域で結婚を支援する組織及び仲人の育成を行う組織育成事業	実施中
14	地域団体活動等による出会いの場づくり促進支援事業	実施中
15	結婚生活のイメージアップや早期からの婚活を推進する結婚機運醸成事業	実施中
41	助成や高齢者等への就業情報を斡旋する市役所内就業情報発信事業	実施中
11	広域的な結婚活動及び婚活パーティー支援事業	H29 実施予定
12	広域的な出会い力アップスクール事業	H29 実施予定
42	家事メン推進事業を推進する企業を推奨する男性のワークライフバランス促進事業	H29 実施予定

8	ショッピングセンター内に雨天でも子育て世代が集える遊戯スペース整備事業	検討中
5	地域のシルバー世代との連携による、子育て家庭を地域で支えるファミリーサポート推進事業	実施しない
6	ベビー用品活用（レンタル&リユース・リサイクル）事業	実施しない
7	病児・病後児に加え夜間保育導入検討事業	実施しない

※ 取組状況の詳細は、別添「総合戦略掲載関係事業リスト」を参照。